学校番号	T3006

平成 31 年度　工業科

教科	工業	科目	(学) 自動車製図	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図の基礎、図面の役割、用具とその使い方、投影図、立体的な図示法等や製作図・設計図などを正しく読み、図面を作成する能力と技術を学習する。

2　学習の到達目標

製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本工業規格に基づいた製図方法に関心を持ち、その基本的な知識と技能の向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	製図の記入法や読み取り方、また図面を構成し作成する方法に関して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	製図に関する基礎的・基本的な技能を身に付け、その技術を適切に活用している。	製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識を身に付け、製図（設計図）の観点から工業の意義や役割を理解している。
評価方法	授業中の質問の応答程度等で評価する。出欠状況・忘れ物等についても評価する。	授業中の注意力・熱意の程度で評価する。	作品の完成度、効率よく作業ができているかを評価する。	各試験にもとづいて評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。